

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 開会宣告
  - ・ 議題の確認
- 

1 所管事務調査事項に係る協議について

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 議題宣告
  - ・ 民生常任委員会における所管事務調査だが、私から皆様に御提案がある。
  - ・ 本委員会の調査事件について、正副の案として「救急医療体制の確保に関するドクターヘリおよびドクターカーの効果的な活用について」を調査してはどうかと考えている。
  - ・ 本件について、提案させていただき理由や調査の目的について御説明する。資料を御覧願う。
  - ・ 資料説明：救急医療体制の確保に関するドクターヘリおよびドクターカーの効果的な活用について（民生常任委員会正副委員長調製）
  - ・ 以上、資料に沿って説明したが、正副としては、「救急医療体制の確保に関するドクターヘリおよびドクターカーの効果的な活用について」を、所管事務調査のテーマにしてはどうかと考えているが、委員の皆様いかがか。このような形で進めたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
  - ・ 次に今後の進め方だが、次回9月の委員会において、まずは本市における救急医療体制の現状等を把握するため理事者の説明を受けた後、本市の課題や調査のポイントを整理した上で、他都市の取組事例も含めて調査を行ってまいりたいと思う。そのような進め方でよろしいか。（異議なし）
  - ・ その他、本件について各委員から何か御発言あるか。（なし）
  - ・ 議題終結宣告
- 

2 その他

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。

○工藤 篤委員

- ・ この間、NHKの7時半からクローズアップ現代という番組を見ていた。それで認知症のことについて、いろいろ映されていた。2025年で高齢者の3.5人に1人が認知症というような推計があるということで、吉田委員や私なんかは年齢的にもその範囲に入っているから、3.5人に入らないようにとは言いながらいつどうなるか分からない。認知症の新時代ということで、その中でも広がる働く場ということで、国でもそういうものに手をつけているということなので、今朝それを見ながら文字化してきたので皆さんに提供したいと思う。それを基に我々も認知症のそういう時代に向けて少し勉強していったらいいのかなと思って、メモしたものを皆さんに提供したいと思うがいかがか。

○委員長（小林 芳幸）

- ・ ただいま工藤篤委員のほうから、認知症の取組について皆さんと共有したいということで資料を作成したということなので、皆さんにお配りする形でよろしいか。（異議なし）

- ・ 事務局から配らせていただく。

(資料配付：8月25日の民生委員協議会での意見(工藤篤委員調製))

- ・ それでは工藤篤委員のほうから意見をよろしく願います。

#### ○工藤 篤委員

- ・ 資料説明：8月25日の民生委員協議会での意見(工藤篤委員調製)
- ・ 少し勉強していく必要があるのではないかと考えて、資料として提供させてもらった。今どうこうするというのではなくて、ぜひ御検討くださればと思う。

#### ○吉田 崇仁委員

- ・ 素晴らしい。今後、認知症はやっぱり避けて通れない状況で、テレビのコマーシャルでもやっている。遠山の金さんでないけどもそういうのが出てきて認知症の保険に入りなさいというのをやっている。

#### ○委員長(小林 芳幸)

- ・ 工藤篤委員のほうから、認知症に関して意見等お話いただいたが、皆様から何か御発言等あるか。

#### ○工藤 恵美委員

- ・ これは委員会の課題にするということか。

#### ○委員長(小林 芳幸)

- ・ そういう話では今はない。提供として。

#### ○工藤 恵美委員

- ・ 認知症に優しいまちづくりというのは大切なことだと思う。認知症に限らず高齢者に優しいまちづくりは、すべての人に優しいということにつながるということは、皆さんも御存じのとおりだし、函館は他都市に比べて高齢者施設が大変多いまちだと思う。それぞれの施設がいろいろな形をとって運営していると思うし、さっきおっしゃった買い物とかも函館でもやっている。よく新聞にも報道されているが、朝市に行ったり、今無くなったけどイトーヨーカドーに行ったりとか、そういうお買い物ツアーみたいなのも今もやっていると聞いているし、私も在宅で父が認知症で介護度5で見ていたけれども、在宅でも函館は優しいとか手が届くところが多いと思う。ただ、多い中で本当に問題があるのかどうかというのを改めて見直ししていくことが必要なのかなと改めて感じた。

#### ○工藤 篤委員

- ・ 買い物のことについては、それぞれやっているのは分かっているが、今回は働くということである。介護事業所の職員もついて行って短時間働いてもらう。それで1時間千円だったか、それを10時間になったら3,000円の商品券を渡すというようなことらしい。つまりお金、そういう商品券だけでなく、働くことによって自分も認められるとか、少しスタッフも行くから大変だと思うが、そういうものについては国もいろいろ認めてきているというから、財政的な対応も含めてあるのかなと。分からないがそういうことも勉強していったらいいかなと思う。

#### ○委員長(小林 芳幸)

- ・ 工藤篤委員には、認知症の件で皆さんと共有したいということで意見をいただいた。常任委員会としても、函館市としての取組だとか、国の認知症対策も進んできているので、その辺を今後も共有しながら進めていきたいと思っているので、よろしく願います。

- ・ 他に何かあるか。(なし)
- ・ 散会宣告

午前10時20分散会